

豊友会会報

大分市大字下郡496-38
大分県教育会館内
大分大学教育学部
同窓会「豊友会」
編集兼 秦 政博
発行人
TEL 556-0145
bundai-hoyu@fuga.ocn.ne.jp
印刷所
(株)明文堂印刷
TEL 533-8800

令和6年度
評議員会(総会)
大分県教育会館



大分大学教育学部同窓会豊友会会長 秦 政博

会員諸氏へ訴える — 会運営に黄色信号! —

去る五月十八日、本年度評議員会が県内外の各支部代表一〇名のご参加の中、昨年度総括と本年度方針の審議をいただき、提案通りに承認を得ました。

その際、評議員の皆さんに本会の置かれた実情—会運営に黄色信号—を縷々陳じました。明治二十七年の発足以来百三十年の歩みの中、内外の教育創造に貢献してきた本会の役割は皆の是とする

去る五月十八日(土)、大分県教育会館の「教育文化助成事業」に応募(申請中)。

関係支部の会員でもある内田智代氏(会報1面のシリーズ連載中)の講演会を実施した。

県PTA/育友会をはじめ市町村教委、大分市内中学校等にも呼びかけ、県内外の関係者や豊友会員、保

豊友会教育講演会

心とところをつなぐコミュニケーション ~「エニアグラム」と「親業」の知恵を使って~

去る5月18日(土)、大分県教育会館の「教育文化助成事業」に応募(申請中)。

関係支部の会員でもある内田智代氏(会報1面のシリーズ連載中)の講演会を実施した。

県PTA/育友会をはじめ市町村教委、大分市内中学校等にも呼びかけ、県内外の関係者や豊友会員、保

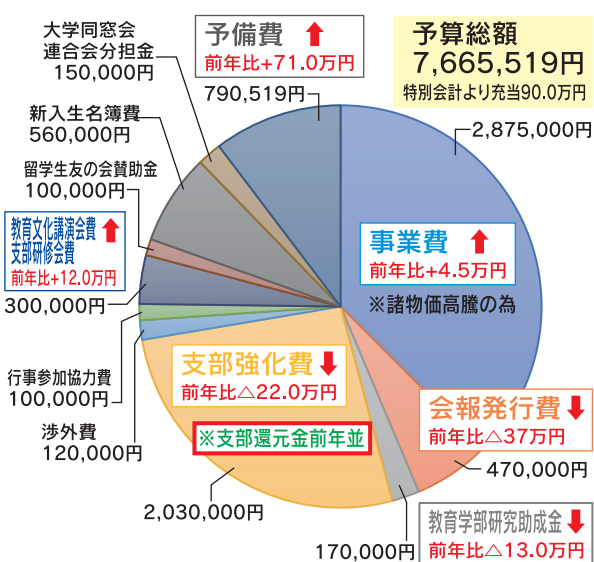


本年度も数点に亘るこの方向を堅持した提案を承認いただきました。

しかしながら状況は切迫しており、この先さほどの猶予はありません。

ちなみに本学の他学部(除く医学部)、九州内教育学部の同窓会では二千円が標準会費です。来年度に向けての各支部の重点課題として、**会費問題について是非ご議論、ご検討**いただくとお願いいたします。

令和6年度豊友会予算



新樹

目の前に高い階段がある。私達は、その高さに圧倒され、とてもしがらみ切ることができない。だから、そう思う。だから、と焦り二重おきの上がついていくと途中で息が切れ「もうだめ...」と上がるのをあきらめ、それよりも一段ずつ上がっていくと、さほど疲れず、いつの間にか二十段、三十段が上がっている。三

役員に「野依不二男」氏(玖珠・九重支部)の交代があり、玖珠・九重支部の野依不二男氏が副会長に就任した。前任の藤原雅章氏は二期四年間の在任。ながきにわたり多大な貢献に感謝

の大切な人と信頼関係を築くコツ」

親業訓練シニアインストラクター
日本エニアグラム学会副理事長 内田 智代

- ### 令和6年度役員
- 会長 秦 政博
 - 副会長 小野 京子
 - 顧問 安東 憲治
 - 監査 藤井 隼也
 - 津崎 佳治

の大切な人と信頼関係を築くコツ」

親業訓練シニアインストラクター
日本エニアグラム学会副理事長 内田 智代

「聞く」とは「黙る・相手を打つ・相手の話を繰り返す・言い換える・

シリーズ



ヒューマンリレーションズ 2 大切な人と信頼関係を築くコツ

「聞く」とは「黙る・相手を打つ・相手の話を繰り返す・言い換える・

「聞く」力はとても大きいと感じます。親子関係のみならず、夫婦や教師と生徒、ご自分の周り

5月18日教育講演会でお話をさせていただきました。教育に精通した経験豊富な方々の前でとても緊張しましたが、コミュニケーションの分野に限り30年以上学んできたので、よい関係づくりのための秘訣をお伝えいたしました。

①人はみんな違うことを知る

②相手の話を聞く

③「私」を主語で伝える

①の「人は違う」という話は、前号で紹介しましたので、今号は②の相手の話を聞くについてお伝えします。

人はみんな違うから、相手の話を聞かなければ

分り合えませんか。特に相手が苦しい状況の時に話を聞くことは、コミュニケーションの基本です。話を聞いてもらえると人はだんだん落ち着いてきます。

気持ちを受け止めて、親子関係では、子どもが苦しんでいる時に親が話を聞いたことで、子どもが息を吹き返すケースをたくさん見てきました。

も嫌々・脱走する
脱走したいんだ。逃げたいんだね。学校も嫌なんだね

母 何?その言い方!!カウんセラミみたいで

娘 母 脱走したいんだ。逃げたいんだね。学校も嫌なんだね

母 何?その言い方!!カウんセラミみたいで

母 脱走したいんだ。逃げたいんだね。学校も嫌なんだね

母 何?その言い方!!カウんセラミみたいで

娘 母 脱走したいんだ。逃げたいんだね。学校も嫌なんだね

母 何?その言い方!!カウんセラミみたいで

母 脱走したいんだ。逃げたいんだね。学校も嫌なんだね

母 何?その言い方!!カウんセラミみたいで

娘 母 脱走したいんだ。逃げたいんだね。学校も嫌なんだね

母 何?その言い方!!カウんセラミみたいで

母 脱走したいんだ。逃げたいんだね。学校も嫌なんだね

母 何?その言い方!!カウんセラミみたいで

娘 母 脱走したいんだ。逃げたいんだね。学校も嫌なんだね

母 何?その言い方!!カウんセラミみたいで



祝

入学

令和六年 四月入学

教育学部
初等中等教育
コース
吉田 百香



私が大分大学教育学部に入学したいと思った理由は、教員採用試験合格率が高いからです。特に大分大学は小学校の教員採用試験合格率が高く、

教育学部
初等中等教育
コース
朝日山 太一



私が大分大学に入学してからもうすぐ二ヶ月が経とうとしています。私がこの学部に入学したのは教師になるためです。私が教師を目指すとう

全国トップクラスの合格率に私は目を惹かれました。大分大学教育学部が他の大学にない魅力は二点あると思う。

一つ目は、メンタリング・コーチングシステムです。これは、担任の先生のように複数の指導教員が一年次から卒業まで一人ひとりの学生に対応した修学指導や生活指導、教員採用試験に向けての指導を行ってくれることです。生活相談や履修指導、卒論指導など様々な面から学生に手厚いサポートを提供してくれるため教員志望の学生にとつ

て最高の環境だと思いま

す。二つ目は、教師育成サポート推進室が「教師育成サポート」や「まなび



考えたきっかけは、小学生の時に校長先生から毎朝元気をもらっていたからです。その校長先生は毎朝学校の校門の前に立って笑顔で元気よく挨拶をしてくださいました。その挨拶に私はいつも元気をもらっていました。その体験から、私も将来子どもに元気を与えられる職に就きたいと考え教員を志しました。

大分大学での生活は予想以上に大変です。課題に加えて、今までやってもらっていた家事も自分でしなければなりません。一方で、楽しいことも増



えました。大学では授業やサークルなどいろいろな人と関わることで、大学のことをいろいろ教えてくださる先輩方や一緒に遊んだり、勉強したりする友達に恵まれました。入学時に抱いていた不安が徐々になくなりました。大学生活はあつという間に終わるとよく聞きます。ここでの生活を有意義なものにするべくたくさん思い出を作るとともに、子どもを笑顔にできるような教師になるために授業の仕方や子どもたちへの接し方を学びたいです。

教育学部
初等中等教育
コース
野上 茉優



私が大分大学教育学部を志望したのは、大分県と連携した教育カリキュラムであるため、大学生のうちから地元大分の教育に貢献できる環境であることと学生生活を通して自分のしたい活動に熱中できるからです。私は大分で生まれ育ったため、教育を受ける立場として

教育学部
初等中等教育
コース
占部 瑞稀



私は大学在学中に様々なことに挑戦したいと考えています。その中でも特に挑戦したいことが三つあります。

一つ目は言語学習です。私は英語の教員を目指しています。そのため、中学・高校で習った知識に加え、日常会話ができるくらいスムーズにできるように

大分の教育と密に接してきました。だからこそ次の教育に関わっていきたいと思います。具体的には教育学部の「まなびんぐサポート」の取り組みを通して、実際に長期間の実習で自分の経験を積むのはもちろん、教



師不足のサポートにも貢献していきたいと考えています。また、大学生は学生でありながらも自分の時間に使うことのできる貴重な4年間です。その4年間で私は児童文化研究部での活動と、高校で所属していたカヌー部を大学でも続けようと考えています。

児文研ではおはなしゼミに所属しています。おはなしゼミの活動は巡回の時に子どもたちに劇をするというものです。ゼミのみんなと練習をしたりお話をしたりと、毎週の活動がとっても楽しく、充実

の英語スキルを今のうちから身に付けておきたいと考えています。できれば一年生のうちに英検やTOEICなどの試験を受験して自分の今の英語力を向上させたいです。二つ目は運転免許の取得です。今はまだ運転免許も車も持っていないため基本的に移動手段は電車が自転車なのですが、大学周辺には坂がかなり多く、買い物に行くたびに大変な思いをしています。その悩みを解決するために、気分転換にドライブに行くためにも早めに運転免許を取得しておきたいです。

は親が作ってくれていましたが、自分で作らなければなりません。一日三食食べてはいるものの栄養バランスが偏っていたようで、最近、鉄分不足になってしまいました。そのため、どの食材にどの栄養素が含まれているのかを気にしながら自炊するように心がけていきたいです。以上の三つ以外にもたくさん挑戦したいので、



課題を早めに終わらせるなどして、限られた時間を上手に使っていききたいです。



キャンパスライフ



共催事業

教育学部特任教授

望月 聡 (名誉教授)

二〇二三年十月十四日、十五日の二日間、日本栄養・食糧学会九州支部と日本家政学会九州支部の合同大会が大分市で開催されました。この大会は、私たちの生活や食に関する研究を行っている研究者が日頃の研究成果を発表するとともに、学会の活動を市民に公開することを目的として毎年九州各県で開催されています。十月十四日には、J:COMホール大分で、「情報技術を活用した食生活の未来」をテーマとした市民講演会を開催し

ました。地方では世界的に活躍している専門家の講演を聴講する機会が少なく、これからの食生活を考える中で、大学研究者はもとより、この講演会を本学卒業生にも広く聴講していただき、食に関する最先端の研究の姿を見ていただきたいと考えて、豊友会の支援をいただいで共催講演会として実施しました。教育現場でも「食育」が重要視される中、食に関わる諸問題について未来を見据えた研究を展開している三名の講師から、「ゲノム

編集で変わる養殖の世界」、「味覚メディアが栄養食糧・家政にもたらす未来」、「プレシジョン栄養学」データサイエンスが拓く個別化栄養の現状と展望」の三つのテーマについて最先端の研究成果などをわかりやすく解説していただきました。講演会には九〇人が参加し、未来の食生活について考える充実した機会になりました。



温補講習会



大分大学教育学部講師

杉山 昇太郎

技術講座

技術講座では、令和六年三月十七日の午後温補講習会を開催しました。会場は教育学部棟三〇二号室で、卒業生である三名の現職小、中学校教諭が講師を務めました。大学からは、学生十名と教員二名が参加しました。方式は座談会方式とし、講師が学生からの質問に受け答えをするという形式で行いました。

具体的質問としては、「初任研について」、「生徒指導及び保護者対応の方法」、「授業づくりについて」、「校務分掌の内容」、「部活動の取り組み方」などがありました。講師の先生方は自身の経験と実践を基に、これらの質問にご回答されました。最後に講師の先生方は、教員としての意義ややりがい、学生のうちにしておくべきことについて話をしました。



講師の中には、昨年度の温補講習で学生側として参加をされていた方もおり学生も話しやすいのか、非常に明るい雰囲気の中で活発な意見交換を行うことができていました。このことから、昨年度以上に、卒業生と大学のつながりを強化する機会になったと考えられます。

部活動の今と昔に迫る!!



あの頃のバスケットボール部

出口 幸男 (昭和47年卒)

昔むかしのお話です。私が入試を受けたのは昭和43年です。駄の原の木造校舎です。現在の附属校舎のある場所です。入学式は且野原キャンパスの新設体育館。ちょうど移転の年でした。前日は雨。大学正門から会場までの上り下りの道は水溜りやぬかるみだらけで、ゴム長靴で歩いてきた友人もいました。グラウンドもまだ十分に整備されておらず、学生寮も学生会館も開かれていませんでした。次の春に経済学部が上野丘から移転してきました。

我バスケットボール部は、統合以前から合同チームとして活動しており、当時から練習場所は、駄の原に残った床のうねった体育館、上野の経済学部体育館、且野原の新体育館を転々。ランニングコースの駄の原のミカン山の道にはミカンの皮が・・・という伝説も。2年目からは新体育館を各部時間割で調整しながら練習しました。他の部も頑張っていましたよ。在学中の我部の最高成績は1年時夏の九州インカレベスト4。酷暑の熊本でキセキが起きました。先輩達の力が大きかったです。4年時には大分大主管で夏の九州インカレを開催しました。ちなみに私、体育会会長兼学生実行委員長として、大分市文化会館(今はありません)での開会行事などを行いました。最も苦労したのは、各大学応援団との調整でした。試合では準々決勝残り2分、私のチャージング・5フアール退場で逆転負け。最悪のキャプテンです。過去、先輩達は全日本インカレで早稲田大学と大接戦を展開した実績があるのですから。



突然、今の私に話しかけます。私は某中学校女子バスケットボール部の外部指導者として活動しています。中学校の部活動は曲り角です。部員数も減っています。指導者数も足りません。1人でも多くの子どもたちにスポーツの素晴らしさ、友の大切さを知って欲しい。そんな思いからです。これからが恩返しです。皆さんも是非参加してください。

教科書 書籍 文具 事務機 学校教材

オーティケイ図書株式会社

otk@iga.bbq.jp

097-521-6133



大分県書店商業組合
大分県文具事務機商組合
加盟店



全国の同窓会事務局1,000団体をサポートする確かなノウハウと管理実績。業務の一部だけでも委託できます。

私たち専門部隊が同窓会運営をサポート!!



- 同窓会ホームページ
- 同窓会名簿発刊・閲覧システム
- 同窓会会員データ管理
- 総会案内・会報発送代行
- 会費・募金徴収、集計業務
- 募金案内・記念事業サポート

小野高速印刷株式会社

0120-22-5085



私の学校

「地」で学ぶ、「地」を創る



佐伯市立佐伯南中学校 校長 小野寛也 (平成7年卒)

「時計台のある学校」 佐伯南中学校校歌には一番に「南に高き龍王(山)の」、二番に「稲穂のなびく長谷の野に」、三番に、「四川が注ぐ海の戸を」という一節があります。本校は佐伯市郊外の自然豊かな地に位置しており、本年度は八学級、二百十名の生徒が学んでいます。



時計台のある学校

昭和六十二年に、青山小・上堅田小・木立小・下堅田小・灘小の五小学校区の子どもが通う中学校として開校し、今年で三十八年目を迎えています。校舎は二階建てで、時計台を中心にコの字型に配置されたスマートなものです。「時計台のある学校」として、当時は、多くの関係者が視察に訪れたと聞いています。もちろん、今も時計台は本校のシンボルです。生徒は恵まれた環境の中で学校生活を送っています。

「地域の『ヒト・コト・モノ』を生かしながら」 佐伯市は全市で中学校区コミュニティ・スクール(以下CS)を展開しています。本年度、佐伯南中学校CSは、佐伯南中・上堅田小・木立小・下堅田小四校の関係者と地域の方々で組織・運営しています。(残念ながら、青山小・灘小は閉校となりました)

佐伯南中学校CSでは、小中九年間の学びを見据え、小学校では「主体性」を、中学校では「自己実現力」を育みたい資質・能力と定めています。また、南海トラフ地震が発生した際には、大きな被害が予想される佐伯市の社会的課題である「防災」を一つの手がかかりとして、家庭、地域とともに児童・生徒の成長を支えていきたいとも考



出身小学校での防災プレゼン



地域ボランティアによる花植活動

本校でも、「総合的な学習の時間」の軸に「防災」を据え、地域の資源を生かしながら、生徒に学びの必然性を持たせ、生徒の能動的な学習を促すことを心がけています。昨年度は、「避難所生活体験学習」で、佐伯市防災危機管理課や地域の社会福祉協議会の方々のご協力のもと、パターションや簡易トイレ・簡易ベッドの組み立て、非常食の調理などの体験活動を行いました。また、「居住地フィールドワーク」では、生徒が出身小学校に出向き、小学生に対して、地域の危険箇所を知らせたり、避難経路を伝えたりなど、実際に地震・津波などの災害が起きた時に、落ち着いて避難ができるよう対処方法などを伝えること

おめでと〜ございます

荣誉に輝く同窓生

- ◎瑞宝双光章 大寺 道信(昭和51年卒) 大分市 山田 俊治(昭和48年卒) 由布市 長谷岑二郎(昭和42年卒) 横浜市

とも行いました。身近な社会的課題について、地域の大人から子どもまで異なる年代の方々と関わる活動の中で、生徒は「自己実現力」を磨いています。一 はじめに 「よみどりの空にやしの葉の」と校歌にもうたわれる樹高十五mの「やしの木(フェニックス)」の生育する呉崎小に、昨年四月着任した。この木は、明治四三年地区出身の軍艦出雲乗務員だった方が、マレー半島ペナン島に寄港した際に、浜辺で拾った五つの実の一つが発芽し、成長したものである。呉崎と言え、西日本の一の白ネギの産地である。江戸時代に日田代官塩谷大四郎公の命を受けた広瀬久兵衛氏により干拓された広大な土地(昭和時代にも二度の工事)に白ネギ畑が続いている。

「花公園佐伯南中」

本校に来校された方々が必ずおっしゃるのが、「素晴らしい花壇ですね」の一言です。地域の方の中には「花公園」と呼んでくださる方もいらつしやいます。生徒も教職員も手伝いますが、この花壇の手入れを、日常的になさってくださるのは、地域コーディネーターを中心とした地域ボランティアの方々です。本当に感謝してもしきれません。

花壇整備に見られるように、どちらかと言えば、これまでは学校が地域に支えられることが多かったと思います。本年度は、学校から、もっと地域に



シンボルツリー「やしの木」

出向き、地域の方々に喜んでいただける活動も行えればと考えています。これからも「地」で学び、「地」を創る」をふりかえり、育み続ける学校でありたいと考えています。

二 学校の歴史

明治八年に開校し、来年度、創立百五〇年の節目を迎える。今年度は、次年度の記念行事の準備期間として、学校運営協議会では「ふるさと呉崎を愛する児童の育成」をテーマに熟議を重ねてい

三 学校の特徴

全校児童数は三五名、職員一名の小規模校である。「通学区の弾力的運用」という市の教育制度を利用し、他校区から登校している児童も数名いる。

学校の教育目標は、「自分の考えをもち他者と協働して主体的に課題解決に取り組む呉崎っ子の育成」を掲げている。子どもたちは、「輝け！呉崎っ子」をキャッチフレーズに「知・徳・体」の育成を図っている。

私の学校

「輝け！呉崎っ子」 ~かしこく・なかよく・たくましく~



豊高 高田市立呉崎小学校 校長 時枝博文 (昭和63年卒)

「体(たくましく)」においては、運動の日常化を推進し、運動の愛好度を高める取組を行っている。そのため、徒歩通学と外遊びを奨励し、先生たちも一緒に全校で楽しく遊んでいる。保護者会総会では、学校を中心とした五〇m間隔の同円心を描いた地図を用い、安全な場所から徒歩通学を行う「てくてくチャレンジ」を説明した。同時に、徒歩通学で得ら



呉崎音頭の発表

四 おわりに 大分大学を卒業し、教職に就いて三七年間。いよいよ今年度をもって役職定年を迎える。これまで支えていただいた方々に感謝しながら、残された数ヶ月間、「子どもとともにある教師」という初心を貫徹すべく子どもたちに接していきたい。



白ネギ定植の様子

れる「五つの徳(得)」①体力がつく②頭がよくなる③根性がつく④感性が育つ⑤コミュニケーション力がつく)についても話した。これをきっかけに多くの児童が徒歩通学を始めた。平成二五年にスタートした学校運営委員会を中心に、地域学習が盛んである。平成一七年に、地域と学校が協力して五〇年ぶりに復活させた「呉崎音頭」は、脈々と子どもたちに伝えられている。地区の四季折々の情景が表現された一二番までの口説きや太鼓の練習を一学期から始め、運動会や市音楽会で発表している子どもたちの先生は、地域の方や保護者で構成される「やしの木会」のメンバーである。このように呉崎小学校は、まさに「地域とともにある学校」である。

職場では

昨年の10月より大分市街地の某ホテルの営業スタッフとして勤務しております。

私は、2017年に教育福祉学部情報社会文化課程総合表現コースを卒業しました。高校生の頃は美術教師を目指しておりましたが、最終的に大手旅行会社へ就職しました。

国内旅行の部署への配属となりましたが、とにかく忙しかったです。問い合わせのメールを一日に100件返信し、電話もひっきりなしに鳴り、対応には素早さと正確さが求められました。繁忙期になると終電まで働く事もありましたし、お客様の

搭乗予定の飛行機が欠航や遅延をすると早急に振替便を確保するなどのサポートを必要があるので、息つく暇もないような職場でした。そんな中、2020年にコロナウイルスにより旅行会社は営業が出来ない日々が続き、約2年ほどほとんど月に数回会社と

なつて20代のキャリアを積む大事な時期に自宅待機する日々が続きました。給与は2割カットされ、

ボーナス支給がなくなり不安やストレスを感じて出口の見えないトンネルの中にいる気分でした。そんな中、多くの社員が「在籍型他社出向」という形で自

社に在籍しつつ、他社で勤務するというコロナ禍の救済措置のような働き方となり、私は某大手通信会社のコールセンター業務となりました。連

大分へ住むことを決意し、大分市内の輸入車ディーラーに勤務しました。その後、現職のホテルに入社しました。お客様との縁で楽しんで仕事をして

おります。大分大学に關連するお客様には、「私も大分大学出身です」と伝えると皆様優しくしてくださいますので母校の有り難みと温かさを感じております。この文をお読みいただき、ご宴会などを計画している方がいらつしやれば一報いただければと存じます。

子どもの頃から学校が大好きで「教師になりたい」という思いを持ち大分に入学したものの、どの種類の教師になるのかなか決めきれずにいました。そんな時、幼稚園の教育実習で空に浮かぶ雲を見ながら口々に自分の思いを言う子どもたちに対し、先生が「本当だね、よく思いついたね」と笑顔で一人一人の思いを受け止める場面に出会

いました。一人一人の思いが大切にされる温かい雰囲気を引き込まれ、幼稚園教員を目指すことを決めました。あれから20年近くが経とうとしています。私は今、滝尾幼稚園で主任業務として園運営に携わりながら保育をしています。自分のクラスがないことに少し寂し

さもあります。みなさんの先生」として園の子どもたちと関われることはとても幸せです。また、客観的に保育を見るからこそ気づけることもあ

ると感じています。担任の時間を振り返ると、「こんな子どもに育てたい」という自分自身の思いが強いすぎ、教師主導の保育だったのでは」と反省する部分もあります。もちろん今も、教師としての「思い」は大切にしています。それが、それが実現したい思いや楽し

んでいることは何かを言動からだけではなく、表情やしぐさなど些細なことからも見取ることが大切だと感じています。その姿を他の職員と共有し意見を交換し合う中で翌日以降も子どもが「やってみよう」と思えるような保育をつくりだすことができればいいと思います。子どもたちにとってこれから先何年も続いていく学校教育。その土台をよりしっかりとしたものにするために、これからも目の前の子どもたちの姿を大切にして保育に取り組んでいきたいと思

ます。幼児教育では、子どもたちは遊びながら学んでいきます。ただの砂遊びに見えても、作った砂のケーキを数えたり、型抜きが上手にできる砂とすぐに崩れてしまう砂があることに気付いたり、友だちが使っているスコップを使いたい時にどうすればよいか考えたりと、たくさん学びがあります。それは、その先の小学校以降の教育の土台となっていくと思います。子どもたちにとってこれから先何年も続いていく学校教育。その土台をよりしっかりとしたものにするために、これからも目の前の子どもたちの姿を大切にして保育に取り組んでいきたいと思

教育情報



本県の現状と取組

大分県教育庁義務教育課 課長 小野 勇一 (平成44年卒)

近年では、これまで学校を支えてきたベテランの教職員が、ご退職を迎え、経験年数の浅い教職員が増加傾向にあります。今年度の新規採用者は、小・中学校で270名です。来年度も、同様の数になるかと思

20代30代が急激に増え、授業力・生徒指導力・学級経営力等に不安や困りを抱えている教員も少なくありません。つまり、経験年数の浅い教員の人材育成は本県の課題であると言えます。



このような現状を踏まえ、全ての市町村に、授業力向上アドバイザーを配置しております。

授業力向上アドバイザーは、ご退職された再任用の先生方を中心に、お

中学校においては、「中学校学力向上対策3つの提言」に基づき、共通の

「教科担任制推進教員」、そして、28名の英語専科教員を配置し、小学校における教科の専門性を担保した授業を目指して

「新大分スタンダード」への理解を促す必要があります。以下の視点で授業改善を推進していきます。

①「めあて」は、児童生徒に学習の見通しをもたせるとともに、学習に対する興味・関心や意欲を高めるものになっているか。

②「わかった」「できた」を実感させるような、子どもにとって追究する価値のある「課題」が設定されているか。

③課題追究では、子どもの試行錯誤や意見交流を通して、自ら最適解を見つめるような展開にするともに、追究した結果が「まとめ」として明確に示されているか。

④学びの成果を実感し、学習活動を自ら振り返り、意味付ける効果的な「振り返り」が設定されているか。

⑤「振り返り」が設定されているか。

⑥「振り返り」が設定されているか。

⑦「振り返り」が設定されているか。

⑧「振り返り」が設定されているか。

⑨「振り返り」が設定されているか。

⑩「振り返り」が設定されているか。

⑪「振り返り」が設定されているか。

⑫「振り返り」が設定されているか。

⑬「振り返り」が設定されているか。

⑭「振り返り」が設定されているか。

⑮「振り返り」が設定されているか。

⑯「振り返り」が設定されているか。

⑰「振り返り」が設定されているか。

⑱「振り返り」が設定されているか。

⑲「振り返り」が設定されているか。

⑳「振り返り」が設定されているか。

㉑「振り返り」が設定されているか。

㉒「振り返り」が設定されているか。

㉓「振り返り」が設定されているか。

㉔「振り返り」が設定されているか。

㉕「振り返り」が設定されているか。

㉖「振り返り」が設定されているか。

㉗「振り返り」が設定されているか。

㉘「振り返り」が設定されているか。

㉙「振り返り」が設定されているか。

㉚「振り返り」が設定されているか。

㉛「振り返り」が設定されているか。

㉜「振り返り」が設定されているか。

㉝「振り返り」が設定されているか。

㉞「振り返り」が設定されているか。

㉟「振り返り」が設定されているか。

㊱「振り返り」が設定されているか。

㊲「振り返り」が設定されているか。

㊳「振り返り」が設定されているか。

㊴「振り返り」が設定されているか。

㊵「振り返り」が設定されているか。

㊶「振り返り」が設定されているか。

㊷「振り返り」が設定されているか。

㊸「振り返り」が設定されているか。

㊹「振り返り」が設定されているか。



携した実際の行動を伴ったキャリア教育の推進を図っています。教育現場は、今後ますます難しい状況になると予想されます。学校教育を熟知されている豊友会会員の皆様方から、「変えていくべきもの」、「変えてはいけないもの」についてご教示を賜りながら、諸先輩方が築いてくださった本県教育の基盤と教育水準を、今後も維持できるように努力して参ります。最後に、豊友会様の今後益々のご発展と会員の皆様方のご健康ご多幸を祈念しまして、本稿への執筆を終わらせていただきます。

右達者記!

久米忠臣氏 94歳
杵築市大字八坂(昭和25年卒)



訪問者

杵築市支部

支部長 諸富忠彦(昭和37年卒)

事務局長 小野誠司(昭和63年卒)



杵築市支部最長老に近く、今もお元気で活躍されております。久米先生をご紹介し、先生は長年に亘り郷土史のご研究を続けており、県下でも有名なお方です。

たいへんご無沙汰をしております。最近はお体の調子はいかがですか。ここ4・5年は外に出て行くことがめっきり減りましたね。車イスを使用することはありませんが、

足が弱りました。でも、電動カートがあるので、それでどこにでも行けます。町まで行くこともありますよ。

ご自宅の下に、「郷土史研究会」の看板がありました。あれはいつ頃から始められたのですか。初任地に勤めたころです。その頃は、学校の近所に金山や馬上神社などがありました。歴史的に貴重なもので、興味が湧き、調べてみると、これがとてもおもしろかったです。それ以来です。から、70年前ぐらいです。からね。

師範学校卒業後、初任地ではどんな思い出がありますか。

初任地は山香の立石小学校でした。学生時代はサッカーばかりしていたのですが、私は意外と成績がよかったようなのです。と言うのも、当時の制度で「勅任官」「秦任官」というものがありました。成績優秀で師範学校を卒業すると、その「勅任官」「秦任官」という称号のようなものがつくのです。私は「秦任官」



講演にて熱弁を振るう久米先生

でした。そして、入学式や卒業式等の行事では、管理職の次の席に座られました。あの時は驚きました。年上の先生もたくさんいるのに新卒の自分が上の方にいるのは気まづかったですね。その制度は着任後しばらくして廃止になりましたね。退職後はどんなことをされていきましたか。

地区では区長や老人会の役員などもしましたが、やはり一番時間を割いたのは郷土史の調査や研究です。特に、まだ若かったころは、県から依頼された郷土史研究の講演で、国東から宇佐・別府・大分・竹田・日田など全県的に何度も講演で回りまわりました。また、杵築市内をはじめ、山香・立石、そ

れから別府の石垣原の合戦の歴史調査などにも携わりました。さらには、杵築市の逃散一揆。これは非常に貴重な歴史の出来事なのですが、残されている資料がたぐさないうのです。しかし、杵築市には当時の庄屋さんが記録したい資料が残されておらず、調べ甲斐がありません。この講演では、福岡や熊本等に何度も呼ばれました。かなりの数の講演をしていただきました。講演料もたくさんいただき、妻も喜んでくれました。

郷土史研究を続けていると、たくさんの方が尋ねて来たり、また、そこで資料をいただいたりして、どんどんネットワークが広がりました。

語と体育を担当しました。当時は子どもの数が多く、新しく中学校ができたので先生が足りず、小学校から中学校に行かされたりしていました。どうして教員になろうと考えたのですか。

最初は、電報電話局か郵便局に就職することを勧められました。当時は熊本に帝国銀行があり、そこも考えました。しかし、母親は当時の栄養事情を心配し、父親は戦争に行っていましたから、お金はかけられませんでした。お金はかけられませんでした。大分師範学校なら月謝(授業料)もなく、おまけに当時は生徒給費制というものがあって、月300円が支給されていました。それを定期代にすれば通えるということ、師範

学校に行くことを決めました。退職して35年ほど経ちますが、最近の学校や教員について、どのような感想をお持ちですか。

昔は、生徒に何か悪いことがあればすぐに駆けつけていました。また、生徒指導案がおきれば、その地区に行き聞き込み活動や情報収集をしていました。最近では家庭訪問もしない学校があると聞き、寂しく思っています。また、コンピュータの導入で、机に張りついて仕事をすることが減ったと聞いています。先生同士で話をすることが減っているのではないかと危惧しています。もっと職員間で話をする雰囲気してほしいですね。昔に比べて職員室が暗いように感じています。また、職員会議をもつと大切にしたいです。最近では伝達事項ばかりで誰も物を言わないと新聞で読んだことがあります。昔は仲間同士で話し合っ



波多方峠にてF&W参加者に説明をする久米先生



お堂前でF&W参加者に説明をする久米先生

大学時代どんなふうにご過ごされていきましたか。

大学時代といっても師範学校ですが、当時はサッカーをしていました。当時はウイングと呼ばれるポジションでした。私は国体にも何度も出場し、教員になってからは各地の高校の指導もしました。私は小学校の教員が指導していたこともあり、中学校で働いた時は、国

私を育ててくれた名言 故事 格言



野崎武成 大分市大字森(昭和33年卒)

私はよく名言・格言付きで父母から叱られました。まず父より、お前の英語の勉強は、「暈の上の水練」だ、英会話など実用の勉強不足を指摘!他に、「進取の気性」「稼ぐに追いつく貧乏なし」一杯働け。次に母より、「人のふり見て我がふり直せ」私が人の悪口を言った時、母からの指導。「挑戦力」の大切さを叩き込まれました。それが一介の教師の私にとって

「己の欲せざるところ」

最後に老いを支える杖言葉。老人よ未来を見つめ夢を語ろう。「旅に病んで夢は枯野を駆け廻る」(芭蕉)「私は死ぬまで進歩します」(漱石)「もう一度夢に挑み

は人に施すなかれ(論語・孔子) 論語最高の教えでしょう。東西精神指導の第一人者の第一の教えが一致!「利他」の教えです。

「守」は学びの初めはお手本通り、素直に真似て学ぶ。「破」はできた基本に工夫を加える。「離」は独自の境地に入る。例話、トヨタもイトーヨーカ堂もセブン・イレブンもアメリカトップの成功事例を真似て大成功しました。「出藍の誉」です。後でアメリカのトップ企業に恩返しし指導さへ。

交流の



佐賀関小学校今昔に思う

大分市佐賀関支部 須川 啓子 (昭和52年卒)

昭和三十六年四月、ワクワクドキの入学式の日。クラス発表の掲示板の前は、三百五十人程の子どもと同じ数だけの保護者の姿でごった返していた。いつの間にか母とはぐれ、気づいた時には、見知らぬおぼちゃんに手をぐいぐいと引つ張られ、悲鳴も上げられないほどの人込み。「恐ろしいところに来たものだ。」が、私の第一印象。無事に式が終わり教室に入れば五十数名の仲間がざわざわと頭痛がするようなるささ。



大分市立佐賀関小学校

これが六十三年前、全校児童二千二百八十八名の佐賀関小学校であった。騒がしくはあったが、何だか活気にあふれた学校

であった。ちなみに昭和十六年は、児童数最高の二千七百四十人の子どもがいたようだ。時を経て、二十年ほど前「小さな学校は教育効果があがらない。」という理由を振りかざし、日本中が教育予算削減のために学校の統廃合が進められていった。佐賀関地区にあった六小学校、一分校と三中学校は、四小学校と二中学校になった。現在は、二小学校、二中学校である。

「学校は、地域文化の中心。」と言われていたが、感じます。最近では、ライブでの遠征にあわせて各地の観光名所をめぐったりおいしいものを食べたりすることもまた、ひとつの楽しみでもあります。実際に現地に行くことはもちろんですが、事前にSNS等でその土地について調べ、どこに行つて何を食べるか等の計画を立てている時間もまた、至福のひとときです。私の好きなアーティストのライブの場合は、毎年夏に全国各地を回るツアーがあり冬には結

そうではなかったらしい。ただ一つ、断言できる事は、「学校は人口流出の歯止めであった。」と言うことだ。

佐賀関は、大分市内一番の高齢化率を呈し、限界集落が点在している。少子高齢化を憂い国や各自自治体をあげて、子育て支援や人口増の政策、予算措置に追われている。手かえ品かえの対策もどれも功を奏さないように小さくてもよい、せめて地域に学校を残すことが人口維持の方策にはならないだろうか。

地域で育つ子らを豊かな心をもつ子らに育てたい。私の好きな小学校校歌の一節「♪世界の子どもをつなぐ夢は大きい佐賀関♪」のように世界に飛び出していく子どもたちを育てたい。

現在、児童数三十七名の学校になった。学校規模の大小にかかわらず、しっかりと自分や世の中の未来予想図を描き、はた強く子どもたちを育てる、そんな教育学部

感動の佐渡ロングライド

関西支部 清水 信行 (昭和47年卒)



の学生育てに、大いに期待したい。

どんな時代にも貫かれてきた教育の不变に足を置き、教育理念やスキルはもちろんであるが、未来を見つめて立ち向う確かな力と強い心をもつそんな子ども育ての覚悟と心意気を持つ学生を育てる事を、大いに期待するところである。

作家、森村誠一氏は退職後は「何もしなくて良い。しかし何をしても良い時間である」といつていた。退職直前の私は、これまでやれなかった事に今からチャレンジしようと思った。一つに自転車を選んだ。妻に大枚五万円を出してもらい中古サイクリング車を購入した。うれしくて神戸の中心、元町や三宮に何回も出かけた。明石大橋の下を通り、西へと走り、白杵出身の直良博士発見の「明石原人」記念碑にも何度も出かけた。

山頂に立った時の佐渡の風なんとさわやかなことか。長い坂を急スピードで降りるスリル。ポイントで接待してくれた佐渡の方たち。地元米の温かいおにぎり。すばらしい感動がたくさんあった。こうやって毎年佐渡を走り続けた。

しかしコロナで、競技は中止となり、やっと再開したものの参加者は減り寂しくなった。私もこの間、闘病生活を体験したため、体力的に前のようには走り続けることが難しくなった。だが目標がある。佐渡の素晴らしい空気をもう一度味わうことだ。そのために体力作りに励みたい。

今年もまた、夏にライブに行く予定があります。「推しは推せるときに推せ」という言葉があるように、今しかない時間を目に焼き付け、全力で楽しみたいと思います。



ライブ前に行ったCamps cafe

今年もまた、夏にライブに行く予定があります。「推しは推せるときに推せ」という言葉があるように、今しかない時間を目に焼き付け、全力で楽しみたいと思います。



急勾配のゼット坂

私の仕事と趣味

大分市役所支部 野口 舞香 (令和2年卒)

現在私は、介護保険の分野で市の職員として働いています。

福祉健康科学部で大学時代を過ごした私にとっては、大学在籍時に培った知識をもとに、とても興味のある分野で仕事をすることができています。市の職員は三、四年で異動があるため、必ずしも自分の興味がある分野で仕事ができるわけではありませんが、(現に大学卒業後三年間は、福祉とほぼ無縁の環境分野で働

いていました)毎回新たな環境と新たな気持ちで仕事にのぞむことができません。市民対応や事務処理など、大変なことも多いですが、ワークライフバランスの実現を目的とした取り組みも多く、福利厚生も充実しているため、とても働きやすい職場であると感じます。

かけにはまり、今では「推し」はなくてはならない存在となりました。コロナ禍でのステイホーム期間中、家でたくさん動画を見ていたことを思い出します。ライブが開催されない時期、開催されても声は出せない時期もありましたが、今ではようやく、通常通り開催されるようになり「推し」の存在を確認できるライブは何度行っても特別なものであり、夢のような時間であると

感じます。最近では、ライブでの遠征にあわせて各地の観光名所をめぐったりおいしいものを食べたりすることもまた、ひとつの楽しみでもあります。実際に現地に行くことはもちろんですが、事前にSNS等でその土地について調べ、どこに行つて何を食べるか等の計画を立てている時間もまた、至福のひとときです。私の好きなアーティストのライブの場合は、毎年夏に全国各地を回るツアーがあり冬には結

大分大学漫画研究部 サボリ



速見郡支部は、日出町だけで構成される一郡一町の支部です。令和五年度の現職会員は五十八名、退職会員は六十名の百十八名で構成されています。現職会員の割合は四十九%で、退職会員も高齢化していることに加え、退職年齢引き上げと再任用

速見郡支部紹介



支部長 利光成幸 (昭和55年卒)

等により減少傾向にあります。本支部の主な活動は、年二回の役員会(会則により総会に代えていますが)と会報配布にとどまっております。役員も事務局長・幹事以外は退職会員で構成されています。本年度から地区委員が数名若い方に交代し、役員

の若返りができていることは明るい兆しの一つです。会報配布については、現職会員には各学校の世話人が配布し、各地区の退職会員には各地区的役員が配布して、現職会員の交流の場として、懇親会や茶話会を企画。

「組織拡大と会員同士の絆づくり」具体策を検討しています。①年二回の拡大役員会。各学校の世話人も参加し、内情や願いを共有。②再任用会員を退職会員扱いとし、役員に推挙、役員若返りを図る。③現職会員と退職会員の交流の場として、懇親会や茶話会を企画。

関東支部だより



支部長 大野吉郎 (昭和48年卒)

関東支部は主に四県(東京、神奈川、千葉、埼玉)在住の同窓会員で構成されています。会員数は現在百三十三人で、地域別会員構成比率は神奈川県四十七%東京三十%千葉十%埼玉八%茨城四%栃木一%となっています。

新入会員は毎年一、二人で、過半数が七十才以上で高齢化が目立ち、年々減少が続いています。現役世代は三十三人(約二十五%)で相互及び世代間の交流はほぼないのが現状です。主な会活動は①総会と研修会及び親睦会の開催。②豊友会報と併行した支部報の発行です。①に関してはコロナ禍前は毎年渋谷のレストラン(余談ですが、元支部長の知人で女将がジョンレノンの奥様オノヨーコ氏と同級生で親交のある方です)のご厚意で割安に開催す

ることもでき、重宝していましたがコロナ禍で閉店となり、令和元年を最後に開催できていません。②に関しては、支部が広域のため、会員相互の繋がりは寄稿等による支部報通信によるところが主ですが、財政難のため現在は休止の状況です。会費納入率が約二十五%と低い状況が続いたためです。さらに今秋には郵便料金の値上げが避けられそうになく、負のイメージが膨らんでくる現状ですが、会員の中にはユニークな活動をされている方

も存在しております。今年度は五年振りに支部総会と親睦会及び研修会を開催できないものかと検討しています。その際には財政や人事を含めて少しでも前向きな支部活動や会員管理の在り方等についても検討していきたいと思っております。



役員会 神田ベルギー料理店にて

④支部会報を発行することにより、豊友会情報共有し関心をもってもらう。できることから、取り組んでいきたいと考えています。

令和5年度 大分大学教育学部同窓会(豊友会)決算書

1. 収入の部 (単位: 円)

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 決算額, 増減, 摘要. Rows include 繰越金, 会費, 入会金, その他の収入, and 合計.

2. 支出の部 (単位: 円)

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 決算額, 増減, 摘要. Rows include 事業費, 会報発行費, 研究助成金, 支部強化費, 渉外費, 行事参加協力費, 教育文化講演会費, 留学生友の会費助金, 新入会員名簿費, 分担金, 積立金, 予備費, and 合計.



心豊かに創作活動

短歌

鳳仙花 我が生日の花なるを 色紙に書きて 愛でる此頃 (大分市鶴崎支部) 阿部三四子

俳句

ふた開けて湯気香り立つ豆御飯 (大分市大南支部) 広川 安秀

川柳

老いた今素直に言えるありがとう (杵築市支部) 神田サヨ子

トピックス

「釣果」 (大分市野津原支部) 加茂 公美 佐伯市大浜湾 真鯛 88cm・8kg



令和5年度 会務報告

(令和五年)

4・4 会計監査 三役会

4・16 常任評議員会

5・20 評議員会(総会)

7・5 会報15号支部・関係者(発送)

7・12 個人会員53名(総加入の呼びかけ)

11・5 大分大学連合会ホリカミンデー

12月 佐藤一郎大分県知事特別講演会

(令和六年) 同窓会55周年学生壇

2・16 大分大学同窓会誌「あまのこ」

2・19 会報15号支部・関係者(発送)

3・1 三役会

3・12 支部長会議

※支部総会11支部実施

※教育文化講演会5支部実施

編集後記(会報発行)

平成二十六年(2024)七月と二月に発行してきまして、今年度の会費減収に伴い、今年度より一回【七月】の発行とします。編集計画は支部会でご案内しますので、今後共更なるご協力をお願いします。

ONE STOP PRINTING www.meibundou.co.jp/

企画・デザインから印刷製本・納品まで ワンストップで対応いたします

明文化堂印刷 大分市長浜町1丁目2-2 TEL.097-533-8800